

S&Pグローバル 日本サービス業PMI®

コストが急騰する中、5月のサービス業の事業活動は停滞

2026年5月

コストが大幅上昇する中、販売価格が記録に迫るペースで上昇

新規受注の伸び、23か月ぶりの低水準に鈍化

雇用は9か月ぶりの緩やかなペースで上昇

最新のPMIデータによると、日本のサービス業の事業活動は第2四半期半ばに停滞した。企業はコストが再び大幅に上昇し、売上高は小幅増にとどまったと報告した。

企業コストは5月に4年以上ぶりの大幅な上昇となり、その多くは中東情勢によるサプライヤー価格の上昇が要因として指摘された。これを受け、サービス単価は2007年後半の調査開始以来、2番目の速さで上昇した。また、雇用の伸びは鈍化し、景況感は新型コロナパンデミック以来の平均を下回って推移した。

S&Pグローバル日本サービス業PMIは、S&Pグローバルがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

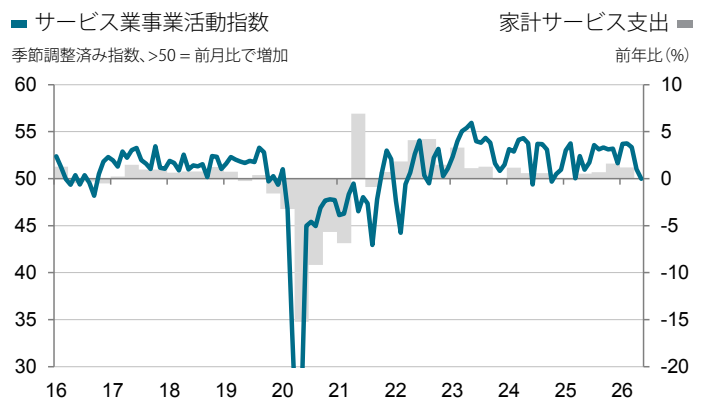
主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50.0を超えれば全体として前月比で増加したことを、50.0を割り込めば減少したことを意味する。

主要指数は直近の最高水準だった2月から引き続き低下し、4月の51.0から5月には中立水準の50.0に低下した。これは前月比で事業活動の変化がないことを示しており、13か月に及んだ拡大局面が終了した。売上高の増加や新規事業により事業活動が拡大したという声が聞かれた一方で、比較的低調な需要環境が業況を押し下げたとの指摘もあった。

セクター別データによると、事業活動は金融・保険セクターで最大の伸びを記録し、対して消費者サービスセクターでは最も急激に縮小した。

日本のサービス業は、新規受注の増加ペースが5月に引き続き鈍化したことを示した。特に、売上高はごく小幅な伸びにとどまり、現在の拡大局面が約2年前に始まって以来、増加率は最も低水準となった。総新規受注の伸びが鈍化したのは、海外需要が一段と急激に縮小したことが一因であり、新規輸出受注は4年以上ぶりの急激なペースで減少した。

平均購買価格は43か月ぶりの大幅な上昇となり、全体としても急激に上昇した。報告によると、中東情勢を背景としたサプライヤー価格の上昇により、燃料、エネルギー、原材料など幅広い品目で



本調査データ集計期間: 2026年5月11日～5月26日

出所: S&PグローバルPMI、内閣府 (S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス)
© 2026 S&P Global

コメント

Annabel Fiddes、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミクス・アソシエイト・ディレクター

「最近公表された公式GDPデータでも確認されたように、2026年第1四半期を通じて業況は好調に推移したが、最新のPMI調査は、第2四半期に入り日本の民間企業全体の成長の勢いが失われつつあることを示している。長引く中東情勢により、特に企業コストが大幅に上昇しており、経済への圧力が続いている。5月の価格指数は、広範なサプライヤー価格の上昇やサプライチェーンの混乱、人件費の上昇を背景に、企業コストがほぼ前例のない勢いで上昇する中、製品およびサービスの販売価格が記録的なペースで上昇したことを示した。

物価の上昇は家計への負担が増大したことで、特にサービス業の需要にも影響を及ぼしている。とりわけ、5月のサービス業の事業活動は1年以上ぶりに停滞し、全体の生産高の伸びは製造業だけが支えたことを示した。しかし、製造業の伸びは一時的な在庫積み増しによる押し上げが一因であり、十分な在庫が確保され、かつ脆弱な世界経済が続けば、その効果はいずれ失われるだろう。

今後はPMI調査を注視し、景気の一段の減速や、さらには事業活動縮小の兆しがないかを確認することが重要となる。そして、その多くは中東情勢の今後の展開と、その世界的なサプライチェーンや物価への影響に大きく左右されるだろう。」

価格が上昇した。人件費の上昇を指摘する声もあった。これを受け、5月のサービス単価は記録的水準に迫る上昇となった。

一方、雇用増加のペースは9か月ぶりの低水準で、小幅な伸びにとどまった。また、受注残はわずかに加速したものの、緩やかなペースで増加した。

今後1年間の事業活動見通しに対する景況感は、2か月連続でわずかに改善したものの、新型コロナパンデミック以降の傾向を依然として下回っている。地政学的な不確実性、コスト上昇、人口減少および高齢化が、一部企業の見通しを下押ししているとの報告もあった。

S&Pグローバル 日本複合PMI®

5月の販売価格は記録的なペースで上昇

5月のS&Pグローバル日本複合PMI生産高指数は、4月の52.2から51.1に低下し、日本民間企業全体の事業活動の伸びが鈍化して緩やかな増加にとどまったことを示した。特に、この上昇率は5か月ぶりの低水準だった。製造業生産高の伸びが単独で成長を支えた一方で、サービス業全体の事業活動は停滞した。

総新規受注の複合指数も5か月ぶりの弱いペースの伸びとなり、全体として緩やかな増加にとどまった。同様に、日本の製品およびサービスに対する海外需要の増加率も、2026年初来で最も低水準だった。コスト圧力は再び強まり、複合購買価格指数は43か月で最も大幅に上昇し、同時に販売価格の上昇率は過去最高の水準に加速した。雇用の伸びは7か月ぶりの低水準に鈍化し、それを受けて受注残の伸びが加速した。

調査手法

S&Pグローバル日本サービス業PMI®は、S&Pグローバル・インクがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめています。対象セクターには消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。データ収集は2007年9月に開始されました。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数（ディフュージョン・インデックス）を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0～100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数（ディフュージョン・インデックス）です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

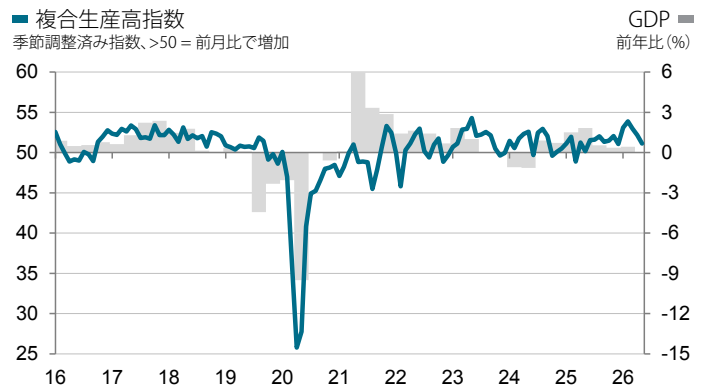
基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報（「データ」）、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標または登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料（「コンテンツ」）の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー（「コンテンツプロバイダー」）は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落（疎漏など）、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失（喪失利益や逸失利益、機会費用など）について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



お問い合わせ

Annabel Fiddes
エコノミクス・アソシエイト・
ディレクター
S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス
電話: +44-1491-461-010
annabel.fiddes@spglobal.com

Eri Amano
アジア太平洋シニア・
コミュニケーション・マネージャー
電話: +81 (0) 80 3714 7658
eri.amano@spglobal.com
press.mi@spglobal.com

S&Pグローバルからお届けするニュースリリースの配信停止をご希望の場合は、press.mi@spglobal.com宛てにその旨お知らせください。当社プライバシーポリシーは、[こちら](#)からお読みいただけます。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク (NYSE: SPGI) は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用付け付、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

PMI (購買担当者指数) について

「購買担当者指数™ (PMI)™」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。